第２５回山形市中心市街地活性化戦略本部会議議事録

１　開催日時　令和８年１０月２６日（月）１１時００分～１２時００分

２　会 場　山形銀行本店ビル　２階多目的ホール

３　出席者

（１）本部員８名

山形市長		佐藤　孝弘（座長）
山形商工会議所	会頭	矢野　秀弥
山形市中心商店街街づくり協議会	会長	船山　隆幸
山形青年会議所	理事長	中嶋　康博
山形大学	教授	山田　浩久
東北芸術工科大学	教授	馬場　正尊
認定 NPO 法人やまがた育児サークルランド	代表	野口　比呂美
山形市都市振興公社	理事長	渡邊　俊

（２）山形市中心市街地活性化戦略推進コーディネーター

まちづくりプラン研究所	代表	牧　昭市

（３）事務局等２０名

商工観光部長、ブランド戦略課長、ブランド戦略課課長補佐、
ブランド戦略課街なか・商業係員（４名）、まちづくり政策課長、
まちなみデザイン課長、山形商工会議所（６名）、
一般社団法人山形エリアマネジメント（５名）

４　傍聴者

記者：１名
一般傍聴：１名

５　内 容

（１）報 告

・令和８年度事業の実施状況について

（２）協 議

・令和９年度事業の進め方について

６　資料の名称

・資料１　令和８年度事業の実施状況
・資料２　令和８年度　出店サポートセンター新規相談者詳細（９月末まで）
・資料３　やまがた街なか出店サポートセンター令和８年度
　　相談者出店マップ

・資料４　令和８年度　業種構成調査結果
・資料５　山形市中心市街地駐車場配置図
・資料６　令和９年度事業の進め方について

７　議事録
（１）開 会（事務局）

（２）山形市長あいさつ

山形市においては、「歩くほど幸せになるまち」のコンセプトのもと、これまで市民、事業者と共に中心市街地活性化に取り組んできた。そうした中、新市民会館の建設、旧料亭千歳館のリノベーション、日本一の観光案内所の検討も進んでおり、様々な形で同時多発的にプロジェクトが進んでいる。本町でのマンション建設や、駅前を中心としたホテルの建設など民間の投資も立て続けに出てきている。

また、今年７月には今回の会場にもなっている山形銀行の新本店ビルがオープンし、一般社団法人山形エリアマネジメントが管理を行いながら様々なイベント等も行われている。１階の吹き抜け空間は多くの市民が滞留し、街の１つのスポットとなっており、大変嬉しく思う。

そうした取組の結果、先日実施した中心市街地の歩行者通行量調査においても、前年を更に上回る結果になる見込みであり、取組の成果と捉えている。

また、１０月８、９日には全国都市問題会議が山形市で開催され、全国から約２，０００名の市長や市議会議員にご来訪いただき、山形市の取組等が全国へ発信されたことも大変良かったと思う。これからも皆様と共にグランドデザインの具現化に向けて頑張ってまいりたい。

本日の会議では、今年度事業の実施状況についての報告、また来年度事業の進め方についてご議論いただきたいと思うのでよろしくお願いしたい。

（３）議事録署名人の指名（本部長）
船山　隆幸　本部員
渡邊　俊　　本部員

（４）報　告

座　　長	報告事項「令和８年度事業の実施状況について」の内容について事務局から説明をお願いする。
事　務　局	「令和８年度事業の実施状況について」（約１５分）
座　　長	質問、意見等はあるか。
本　部　員	なし。

（5）協　議

座　　長	協議事項「令和９年度事業の進め方について」の内容について事務局から説明をお願いする。
事　務　局	「令和９年度事業の進め方について」（約７分）
座　　長	質問、意見等はあるか。
本　部　員	歩行者通行量が増えているが、商店街では賑わいを実感しにくい。調査は駅前や七日町の狭い範囲でのものであるため、人流を捉え切れていない部分があるのではないか。個々のエリアに留まらず、まちなか全体を大きく巡ってもらう仕掛けが必要だと思う。 「ベニちゃんバス」や「ベニちゃり」の利用率が非常に伸びていて、イベント時に満員で利用できないことがある。混雑状況や、どのバス停で乗り降りする人が多いかなどの交通データを収集し、活性化のために活かしていただけるとありがたい。 Web サイト「はい！やまがたでした！」について、閲覧数が伸び悩んでいる部分がある。ハッシュタグを使った発信だけでなく、利用者が求めている情報（グルメ、歴史など）や、興味や行動が似ている人に情報を届ける方法など、SNS のアルゴリズム等を考慮し、専門家の意見も交えながら Web サイトや SNS の発信内容を大きく見直していくべきではないか。
座　　長	事務局から回答をお願いする。
事　務　局	中心市街地において、山形銀行本店のグランドオープンに続き、新市民会館整備、旧千歳館リノベーション、日本一の観光案内所など同時多発的にプロジェクトが進行している。人の流れについては、各拠点の賑わいを繋ぎ、点から線にし、そして中心市街地という大きな面で人を回遊させるトータルコーディネートが必要と考えている。 歩行者通行量調査の 10 地点は平成 20 年の第 1 期計画からの指標であり、単純に変更するのは難しいが、時間帯別の流動性やイベント時の動線など歩行者通行量調査だけでは捉えきれないデータ収集のあり方について、第 5 期中心市街地活性化基本計画策定に向けて内閣府等とも相談・検討していく。 バス等の公共交通データは、担当課と連携して収集・共有を図っていきたい。 Web サイトには、緊急性やリアルタイムでの発信の必要性はないものの多くの方に知っていただきたい情報を中心に掲

	載し、SNS はリアルタイムな発信を行うなど、それぞれの媒体の強みを生かして発信していきたい。
座　　長	他に質問、意見等はあるか。
本 部 員	１０月３１日から、社会実験として山形銀行前から文翔館前にかけての道路（市役所前等）が一方通行化され、自転車道が整備されるが、その狙いについて教えていただきたい。
座　　長	事務局から回答をお願いする。
事 務 局	山形県が本年３月に策定した「文翔館周辺エリアウォーカブル基本構想」に基づき県が主体となって進めている。今回の社会実験は、３車線を２車線一方通行にし、自転車レーンを設置することで、歩行者の安全面や周辺交通の影響を検証するもの。 今後、市としても新市民会館だけでなく、文翔館や山形銀行本店ビルの公共的空間と歩行空間を連動させることで、回遊性を向上させたいと考えている。
座　　長	歩行空間を広くとって新市民会館の面した部分と一体化し、そこを活用して賑わいを持たせていくという、将来像に繋がっていく手前の交通施策と理解している。まずは運用してみてどうなるか、意見もいただきながら進めて参りたい。 事業の進捗が見えてきた際には、できるだけ速やかに情報提供していきたい。 他に質問、意見等はあるか。
本 部 員	中心市街地活性化という視点では、山形大花火大会、日本一の芋煮会フェスティバル、山形花笠まつりなどのイベントやお祭りも、賑わい創出に大きく貢献しているので、資料にも載せてはどうか。
座　　長	事務局から回答をお願いする。
事 務 局	花火大会をはじめとするイベントやお祭りについては、中心市街地への人流波及も含め活性化に欠かせない極めて重要な事業であると認識しており、中心市街地活性化基本計画には記載している。本日の資料は、会議の性質上、中長期的なビジョンを示すグランドデザインの観点から整理したため、掲載を控えた。中心市街地活性化基本計画に関する会議等で、掲載の仕

方について検討させていただきたい。

座　　長　イベント毎に中心市街地との連動は実際に行われており、今後も関係団体としっかり連携しながら進めていきたい。
　他に質問、意見等はあるか。

本 部 員　七日町や中心市街地で活動するプレイヤー同士の横の繋がりや情報共有がまだ不十分であると感じる。自分達からも情報発信の方法を考えていきたいので、一緒に回遊の仕掛けを考えられればと思う。
　山形銀行新本店ビルは、高校生や若者の滞留場所、市外から来た人の立ち寄り場所として見受けられ、とても魅力的。活用の方法を学生からのアイデア公募だけでなく、日常的に街なかで活動する市民や事業者からもアイデアを募り、多彩な取り組みを展開してほしい。
　「歩くほど幸せになるまち」として回遊してもらうためには、まず車をどこに置いて歩き始めるのかという駐車場対策が不可欠。N-GATE は済生館の駐車場となっていることもあり、特に冬季は満車となり、イベント実施や駐車が困難になるという課題があるため、駐車場対策や情報提供方法について工夫してほしい。

座　　長　事務局から回答をお願いする。

事 務 局　情報共有については、今後もより一層密に行いたい。
　山形銀行本店ビルの賑わい広場の活用については、民間で実施できるところは民間の方にお願いし、官民連携で取り組む部分については連携していきたい。
　駐車場情報については重要だと捉えている。Web サイトで情報発信をしているが、ユーザーに届いていない現状を踏まえ、発信のあり方について検討したい。また、車だけでなく、ベニちゃんバスやベニちゃり等を活用しての来訪も促していきたい。

座　　長　他に質問、意見等はあるか。

本 部 員　中心市街地に質の高いカフェや、昼飲みイベント等の大人向けのイベントが増えている。来年度に向けても充実してほしいことではあるが、中央公民館、mana-vi、山形銀行 1 階に集まる中高生や大学生等の若者のお腹を満たす手頃な店舗が不足しており、コンビニのイートインに頼っている現状がある。車

	に乗らない若者に向けて、そのような店舗を増やしてほしい。
座　　長	事務局から回答をお願いする。
事　務　局	若者のニーズにマッチした店舗の必要性については認識している。 そのため、テナントリーシング事業において、県内フランチャイズ加盟店への調査・訪問および本部とのマッチングを通じ、意見交換しながら、若者ニーズに合った店舗等の誘致についても進めていきたい。
座　　長	他に質問、意見等はあるか。
本　部　員	市が実施している各種調査（業種構成、駐車場、通行量等）は充実しているが、収集したデータをオープンデータとして公開し、民間事業者や研究者が自由に使って分析・市場調査できるようにすべきである。 携帯電話の GPS/位置情報データを活用した、曜日・時間帯別の滞留時間等の把握や、国勢調査のデータから、中心市街地エリアの人口増減や居住実態の把握を検討してほしい。 また、駐車場調査、通行量調査、ベニちゃり利用データ、ベニちゃんバス乗降データ等を紐付けて、統合分析することが重要だと考える。データが公開されれば、大学でデータ分析することも可能である。
座　　長	事務局から回答をお願いする。
事　務　局	関係部局との情報共有しながら、どのようなデータを公開できるか、またどのような連携・分析が可能か研究・検討したい。
座　　長	オープンデータの時代であり、重要なご指摘。データを公開することで、まわりまわって民間投資に繋がる可能性もある。企業側の目線も考えながら進めていきたい。 他に質問、意見等はあるか。
本　部　員	駅前エリアの新しいホテルの建設や、日本一の観光案内所の整備が進んでいること、『ジャパンタイムズ』や『ナショナルジオグラフィック』への掲載等により、魅力的な観光地としての注目度が一気に高まるフェーズにあると考える。その対応として、駅前エリアと七日町エリアという 2 つの大きな拠点を結ぶため、理想的なモデルルートや、歩いて退屈しない中間コ

	ンテンツを戦略的に仕掛けるべきである。点の活性化はできているので、ハード・ソフト両面から、いかに繋ぐかを一緒に考えていきたい。 　また、マンション建設による街なか居住が進む中、整備された図書館や山形銀行本店ビルにあれだけ中高生がいるということは、まだ居場所が足りないということ。特に駅周辺においては、まだまだ若者の居場所が足りないと思うので、新たな居場所をつくる必要がある。
座　　長	今後に向けて重要な指摘であり、そのような視点を踏まえて取り組みたい。 　コーディネーターから質問、意見等はあるか。
ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	150ｍ～200ｍの間に何か１つ目的になるような中間コンテンツを戦略的に埋め込んでいかなければならないが、それを実現できるのが、行政でも民間でもなく、一般社団法人山形エリアマネジメントだと思う。ただし、資金がないため、この組織が、お金を回せるような形態になっていく必要があると思う。 　駐車場については、県警を通して VICS センターへ駐車場データを送信することで、カーナビ上にリアルタイムで満空情報を表示させることができる。全国で既に実施している自治体もあるので、山形市でも試してみてはどうか。 　人流調査については、携帯の位置情報データは年間 200 万円程度から細かなデータが分析可能であり、インバウンド動向やどの地点に滞留・流入しているかまでわかるため、導入を検討してほしい。
座　　長	本日は皆様から大変重要なご指摘をいただいた。これらをしっかり受け止め、今後の取り組みに繋げていきたい。

（６）その他

座　　長	その他、皆様から質問、意見等はあるか。
本　部　員	なし。

（７）閉会（事務局）